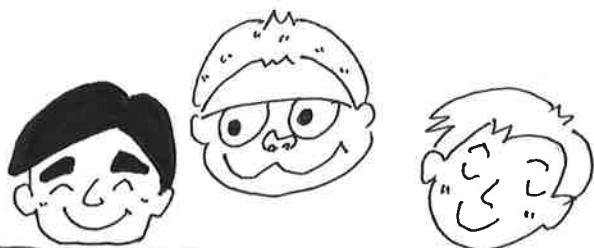


2016年度

こどもニュース



No. 5

2016・6・17発行
金城学院幼稚園

6月、第3週目の日曜日は父の日です。先日あるアンケートで父の日がいつなのか、若い年齢層で意外に知られていないという結果が出たと報道されていました。

母の日があるから父の日があっても良いかも・・・と何処かのメーカーが営利目的で父の日を提唱したとずっと思っていました。しかし父の日のルーツはちゃんとありました。皆さん知っていますか？

父の日は、母の日の由来と密接に関係しています。

母の日は“アンナ・ジャービス”というアメリカ人女性の母親を想う気持ちから生まれ、全米に広まりました。父の日は“ソノラ・スマート・ドット”というアメリカ人女性の父親を想う気持ちが世界に広まったものです。

時は南北戦争。ドットさんの父親は戦争に召集されて、その間、母親一人で6人の子どもを育てることになりました。父親が戻るも、母親は過労のため亡くなってしまいます。それからは、父親が6人の子ども達を男手一つで育てることになりました。ドットさんの父親は子ども達をみんな成人まで育て上げた直後亡くなってしまいます。

母の日がアメリカで広がり出したころ、男手一つで自分たちを育て上げた父親を敬愛しているドットさんは、母の日があるなら、父の日があってもいいのではないかという思いで、父の日を提唱します。そこから次第に広がっていき、世界各国にまで届くようになりました。

今年は6月19日が父の日です。お父さん♥私のお父さんでありがとう！と感謝して過ごす1日でありますように。

今回のこどもニュースは、父の日プレゼント特集です。子ども達は贈る人のことを思い、心を込めて作りました。その時の様子をお伝えいたします。

(まさえ)

わんしょうあつまり

クラスのような縦割りではなく、学年ごとに集まって一緒に活動をする“よこ”の時間、それが“あつまり”です。

5月に入り、年少さんも“あつまり”が始まりました。

これまで、年中さんや年長さんが学年のあつまりに行く様子を見て、「どこに行くんだろう……?」「何をしてるんだろう……??」と、興味津々だった年少さんたち。「これからは年少さんも、年少さんだけで過ごす“あつまり”が始まるよ」と伝えると、目をきらきらと輝かせていました。

はとぐみ&ほしぐみ&ゆりぐみ……まお先生とはとぐみにて
ひつじぐみ&ぶどうぐみ……ゆか先生とぶどうぐみにて

しばらくの間は、上記の2グループに分かれて行っていく予定です。

年少あつまりの中では、はさみやのりなどの使い方を知ったり、身体を動かすことを楽しんだり……と、年少さんだからこそ知ってほしいことや経験して欲しいことを中心に行っていきます。

あつまりでの様子は、こどもニュースでもまたお知らせする予定です。どうぞお楽しみに！



「これからのあつまりはこのメンバーで行うよ」という顔合わせの次にしたこと……それは、父の日のプレゼント作りでした！

「パパ、喜ぶー?」「うれしいかなー?」そんな可愛らしい眩きの中、年少さんも父の日のプレゼントを作りました！自分がつくった母の日のプレゼントをお母さんが喜んでくれたこともよく覚えており、「お父さんにも喜んでほしい!」と、父の日のプレゼント作りに取り組みました。

そんなねんしょうさんからの
プレゼントは……、

1P1Pみてみて☆ファイル

ここに手紙が
入れられます!!



♪ お父さんの顔を描いたよ！

「お父さんはおひげが生えてる！」「髪が短いよ」「眼鏡を掛けてる！」と、それぞれ顔を思い出しながら、画用紙いっぱいにお父さんのお顔を描きました。画用紙からはみ出してしまいそうな勢いで、元気いっぱいに描きあげたお顔……似ているでしょうか

♪ ハサミとのりに挑戦したよ！

ファイルの飾りとなる画用紙は、自分たちで切って、貼り付けました。

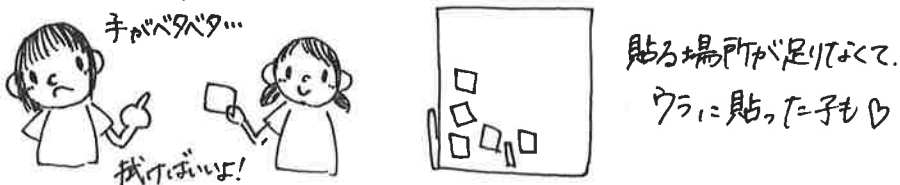
ハサミを見た瞬間から、早く使いたいとそわそわしていた年少さん。「まだ？まだ??」と、待てない～！という声も聞こえてきました。たくさん用意したはずの細長い画用紙があつという間になくなってしまいくらい、子どもたちはハサミが大好き♡

豪快にざくざくと大きく切る子もいれば、細く細かく切る子もいて、こんなところにも子どもたち一人ひとりの個性が光っていました。



のりを使い方を伝える中、保育者がわざと描いた顔の上に貼ろうとすると、「だめー！」「お顔が見えなくなっちゃうー！」の大合唱を受けました。描いた顔に重ならないように貼るということ子どもたち自身が意識して、思い思いに貼っていきました。

のりを使ったことがあっても、のり紙（のりを使うときに敷く台紙）を使うのは初めてという子もいて「これ、どう使うの？」と不思議そうな様子がありました。のりの感触が楽しくてのり紙自体にのりを塗りつけている子も……。のり特有の感触を楽しみながら、顔の周りに貼ったり、色や向きをそろえて貼ってみたりと仕上げていきました。

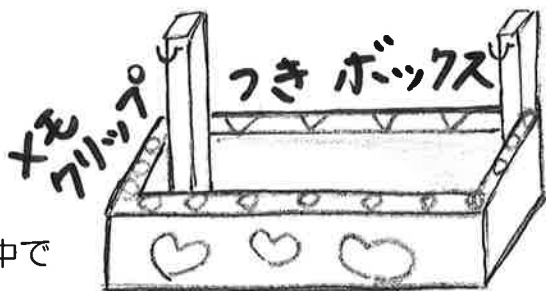


台紙となる画用紙の色も子どもたち一人ひとりに選んでもらいました。子どもたちの個性が光るこのファイル、どうぞ大切に使うてもらえると嬉しいです。

ファイルに挟む手紙の量に合わせて、リボンは調節できます。使い方に合わせてリボンの緩ませ具合を調節してくださいね☆

(ゆか)

年中父の日プレゼント



お父さんって? & カード描き

子ども達とプレゼントを作っていく中で
こんなお父さん像が見えてきました。

「みんなのお父さんってどんなひと?」「どんなところが好き?」と聞いてみると、
たくさん発言してくれました。

「カッコいいよ!」「自転車を教えてくれた」「公園に連れて行ってくれる」「料理
が上手だよ」「顔が好き」「ぜ〜んぶ好き」などなど・・・

そして「お父さんってもてるんだよ」という発言が!「そうなの?!」聞いていると
「うん!荷物を全部もてた!いっぱいもてるよ!」「なるほど!」なんていう楽し
い会話もありました。

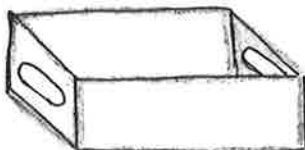
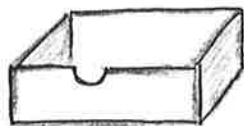
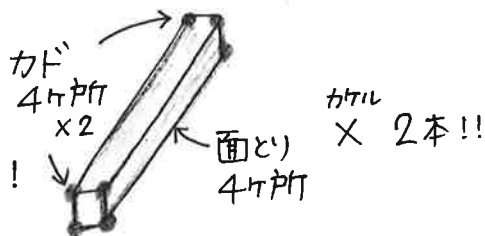
その後そんなお父さんを思いながら顔を 描きました。 ひげを描き、眉毛をりり
しく描いている姿に、成長を感じました。

プレゼント作ろう!

木工工作の入り口として、母の日プレゼント同様、木を使ってプレゼントを作ろう
と考えました。父の日プレゼントでは、立体にするにはどこをどのように組み合わ
せればよいのか、一人ひとりがじっくり考えながら作る時間を大切にしました。

はじめにヤスリかけ!

板材をヤスリかけするには、4つの角を
頑張ればよかったのですが、今回は棒材2本!
小さいようで実はたくさんの面にヤスリを
かけなければなりません。どの子も集中して
頑張っている姿に嬉しく思いました。



好きな箱を選ぼう!

小さな頃から身近な事柄を選択していく習慣は、欧米に比べ日本は少ないそうです。
自己決定から自己肯定感へつながる選択は、子どもの選んだ事を認めていくことか
ら始まると言われています。子どもたちがいろいろな思いで選択した箱を、うんと
喜んであげて下さいね♡

ヒートンつけ!

ヒートンと呼ばれるネジをつけました。「ひねる」「ねじる」という言葉と動作を知ってもらいたいと思い、ヒートンつけを考えました。言葉がまだ未発達な子ども達は、このように動作と連動して覚えていくことがとても大切です。特に抽象的な言葉は習得が難しいのですが、ひとつひとつの言葉を覚えていくにしたがい、自分の気持ちの表現が豊かになったり、相手の気持ちがわかっていくことでしょう。いろいろな言葉を発信してあげて下さいね。

さて、ヒートンつけ。あらかじめキリで穴をあけておいたものの、棒材が固くてなかなかねじることができません。指先でねじるというよりは、立ちあがり上から押さえつけていきました。最後はペンチを使ってひねる作業をしました。自分の力をどこに入れ、その力をヒートンに伝えていくにはどうしたら良いのか、まさに科学・力学の時間でした。

絵を描こう!

木工工作にはピグマックスというペンがいちばん使いやすく、トントンコーナーでも常設されています。細い・太いという違うペン先の使い方を知り、上手に使い分けている姿や、細かな絵が描けるようになった姿を見て、今後の木工工作に活かされていくと思いました。



組み立てる!

一番難関でした! 棒材のどこにボンドをつければよいのか?

「こことここにボンドをつけてね」と教えてしまえば早いのでしょうか。

何十人もが一度に作ろう(いや、作らねばならない)となれば、そのように教えるしかありません。しかしそうではなく、どうしたら出来上るのかを、考えることが大切であると捉えています。

どこにボンドをつければよいのか、あっという間にわかる子もいれば、何を聞かれているのかさえも初めはわからない子まで、一人ひとりじっくり向き合い、子どもが自分で考えた結果できあがりしました。こんな時間を大切にする事によって、考える力が培われ、出来上ったときの達成感があり、そのことが自信につながって次へのステップとなるのでしょうか。

「こことここにボンドをつけるんだ!」と発見したり「あ〜上のほうまでつけすぎちゃった!」と嘆いてみたり・・・そんな姿が大切なんですね。

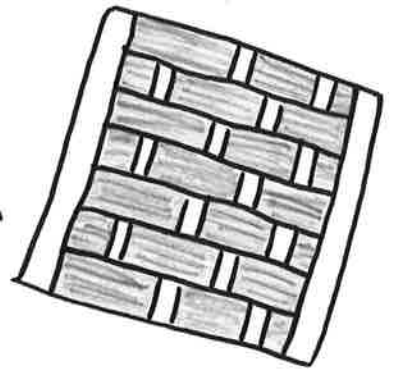
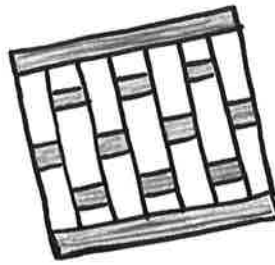
未永く大切に使ってあげて下さいね♡

Chika

年長さんからは

コースター

です☆



父の日を前に、子どもたちにみんなのお父さんってどんなお父さん？と聞いてみました。「一緒に遊んでくれる」「バイク運転できる」「強くてすごい」などなど。大好き！が伝わってきました。すてきなお父さんですね。

そんなお父さんにもありがとう、大好きの気持ちを込めてプレゼントをあげたいね☆という話をするすると「やる〜」「つくる〜」と盛り上がりました。

コースター作りは3日間に分けて行いました。

1日目はベースづくり。子どもたちはベースになる色、縁取りの色を選ぶとき、「お父さん緑好きなんだよ」「赤より黄色かなあ・・・」とお父さんの好きな色を考えながら選んでいました。2つ作ることを話すと「じゃあもう一つはお母さんにあげる」「お父さんとおじいちゃんにする」「もう一つは自分のに！」と一人ひとり思いをもって作ることができました。1つ目は保育者と一緒にひとつずつ説明を聞きながら作り、2つ目は自分たちで考えながら作っていきました。自分で考えて、諦めず頑張る姿に成長を感じました。

2日目はカード描き。お父さんの顔を思い浮かべながら、クレパスを画用紙に走らせます。スイスイ描いていく子、じっくり描いていく子、様々でしたがどの子もお父さんの特徴を捉えた“そっくり”な顔が完成しました。

3日目はいよいよ編む行程です。保育者の見本をよく見て、試行錯誤しながら編んでいきました。「わかんなくなっちゃった」「これであってる？」「もうすぐ完成するよ！」とお父さんの喜んでくれる姿を思いながら、頑張っていました。今回は「3本は編もうね！」と声をかけていましたが、4本目に挑戦する子もたくさんいました。だんだんと固く難しくなっていく4本目。せっかくのプレゼントだから、お父さんに喜んでほしいからと一生懸命頑張っている姿がとてもステキでした。

両面に防滴加工をしてありますが、濡れた時は早めに拭いて乾かしてあげてくださいね♪

あきこ.